

平成22年度も 健全経営を堅持

旭中央病院の財政状況

引き続き黒字

病院経営などによる収支(収益的収支)は、収入333億272万円、支出316億1,966万円、税引き後利益は、16億2,315万円となりました。

収入の内訳は、入院収益153億1,402万円(46.0%)、外来収益135億8,468万円(40.8%)が主なものです。

支出の内訳は、給与費136億9,387万円(43.3%)、材料費99億6,733万円(31.5%)、経費など32億6,748万円(10.3%)、減価償却費など24億8,909万円(7.9%)、支払利息4億3,380万円(1.4%)、その他17億6,809万円(5.6%)と続きます。

病院施設などの建設・整備にかかる収支(資本的収支)は、収入154億8,235万円、支出186億9,393万円となり、不足分は病院事業内の留保資金(減価償却費など)、再整備事業に係る県補助金および企業債などから充当しました。支出項目の建設改良費174億4,770万円は、より質の高い医療を提供するため、再整備事業や器具備品・ソフト開発費に充てられます。

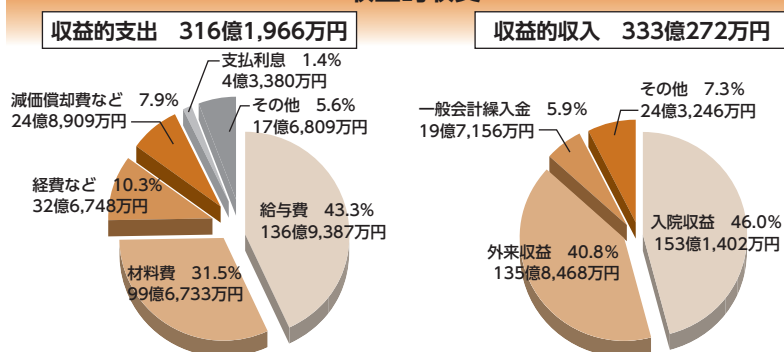
平成23年度からは、新本館を建設したことにより、減価償却費が増加します。年間で10億円

再整備事業の状況

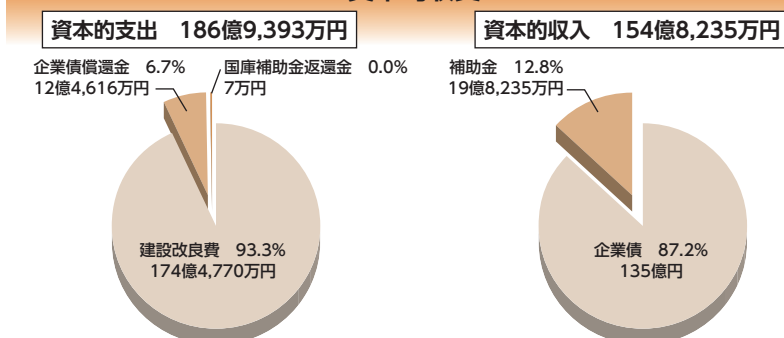
程度増加しますが、平成22年度の診療報酬のプラス改定や、地域医療再生計画に基づく一般病床33床の増床などにより、収入増が見込まれ、引き続き黒字経営を維持できる見込みです。

現在、既存棟の機能を1号館、2号館、7号館に集約するための改修工事を行っています。これに伴い、一部の診療科を仮移

収益的収支



資本的収支



問い合わせ先

旭中央病院総務課

☎ 63・8111(代)

転し、院内の順路を一部変更していますので、案内表示などに注意してください。
改修工事後に、既存建物の解体工事を予定しています。工事は、騒音や粉じんなどの周辺対策、病院を利用する皆さんに影響がないよう、配慮し行います。